大分大学大学院工学研究科
博士後期課程学生募集要項
（第３次募集）

・春季入学（平成２２年 ４ 月入学）

・秋季入学（平成２２年１０月入学）

一　般　選　抜
社 会 人 特 別 選 抜
外国人留学生特別選抜

出願期間：平成２２年2月２６日（金）～3月１１日（木）

試験期日：一般選抜及び外国人留学生特別選抜

平成２２年3月１６日（火）

社会人特別選抜

平成２２年3月１６日（火）又は3月１７日（水）

平成２２年２月

大　分　大　学

― 目 次 ―

大分大学大学院工学研究科博士後期課程アドミッション・ポリシー……1

＜春季入学＞平成２２年４月入学＜秋季入学＞平成２２年１０月入学

1. 募 集 人 員 ……2

2. 出 願 資 格 ……2

(一般選抜及び社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜)

3. 入学者選抜方法の区分 ……3

4. 出 願 手 続 ……3

5. 入学者の選抜方法 ……5

6. 合 格 者 発 表 ……6

7. 入 学 手 続 ……7

8. 入学料及び授業料 ……7

9. 注 意 事 項 ……7

大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について……8

長期履修制度について……8

障がいのある者等の事前相談について……8

博士後期課程教育研究分野 ……9

1. 専攻の概要

2. 博士後期課程の教育研究分野及び授業科目

大分大学位置図及び学内案内図 ……14

大分大学大学院工学研究科博士後期課程

アドミッション・ポリシー

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて，世界に通用する科学技術を創造し，もって地域に貢献するとともに，豊かな創造性，社会性及び人間性を備えた人材を育成することを理念とします。

教育・研究の目標

本学の教育・研究の目標を踏まえ，工学研究科博士後期課程においては，各専攻分野における高度でかつ最先端の知識を身につけ，独立して研究を展開し，国際的に活躍できる指導的技術者・研究者を育成することを目標とします。

求める学生像

前述の目標を達成するために，工学研究科博士後期課程においては次のような意欲と熱意をもった人を求めます。

1　科学技術を深く探求し，独創的研究に取り組む意欲を持つ人
2　新たな分野や理論の創出に意欲を持つ人
3　国際的視野や感覚をもち，世界的研究を目指す人
4　人間性が豊かで，人類福祉に貢献しようとする志を持つ人

入学者選抜の基本方針

本研究科では，前述の「求める学生像」にふさわしい人を選抜するために，一般選抜のほかに特別選抜（社会人，外国人留学生）を実施し，学生を選考します。

・一般選抜

志望する研究分野の基礎となる科目と英語の筆記試験，修士論文又は研究成果，志望する研究分野に関する科目，入学後の研究計画等についての口述試験及び書類審査の結果を総合して選抜します。

・社会人特別選抜

志望する研究分野に関する専門科目，英語，研究業績，入学後の研究計画等についての口述試験と書類審査の結果を総合して選抜します。また，研究計画書及び職務履歴書について試問します。

・外国人留学生特別選抜

一般選抜に準じます。ただし，筆記試験は，志望する研究分野の基礎となる科目と日本語とします。

１．募集人員

専　攻　名	募 集 人 員	
	平成２２年４月入学	平成２２年１０月入学
物質生産工学専攻	若干名	
環 境 工 学 専 攻	若干名	

※　募集人員の中には，各専攻とも 社会人特別選抜の人員を含みます。

※　外国人留学生特別選抜による募集人員は若干名とし，定員外とします。

※　平成２２年度の各専攻の募集人員は，４月入学，１０月入学あわせて６名です。

２．出願資格

平成２２年４月入学

次のいずれかに該当する者

（１）修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成２２年３月までに取得見込みの者

（２）外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成２２年３月までに授与される見込みの者　※（注１）参照

（３）我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成２２年３月までに授与される見込みの者

（４）大学を卒業し，又は外国において学校教育における１６年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者で，本学大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者　※（注２）参照

（５）本学大学院において，個別の出願資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達した者　※（注３）参照

平成２２年１０月入学

次のいずれかに該当する者

（１）修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成２２年９月までに取得見込みの者

（２）外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成２２年９月までに授与される見込みの者　※（注１）参照

（３）我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成２２年９月までに授与される見込みの者

（４）大学を卒業し，又は外国において学校教育における１６年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者で，本学大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者　※（注２）参照

（５）本学大学院において，個別の出願資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達した者　※（注３）参照

※（注１）

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者を含む。

※（注２）

「出願資格の（４）」は，修士の学位を有しない者も，大学卒業の資格を有する者であれば，大学卒業後に大学や研究所等において，２年以上研究に従事した場合には，その研究の成果等について入学を希望する大学院が個別に審査して,「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力がある」と認めた場合には，当該大学院が行う博士後期課程の入学試験の受験を認めるものです。（以下,「出願資格認定」といいます。）

※（注３）

「出願資格の（５）」については，大学卒業資格を有しない者でも，短期大学，高等専門学校，専修学校，各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であって，２４歳以上の者は，大学院が行う個別の「出願資格認定」を受け，当該大学院博士後期課程の入学の出願を行うことができるとしているものです。

◎　「出願資格の（４）又は（５）」により受験する場合，その他，出願資格について疑問がある場合は，出願前に，入試課に問い合わせてください。また,「出願資格認定」の手続きについては，８ページの「大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について」を参照してください。

３．入学者選抜方法の区分

入学者選抜方法及びその受験資格は次のとおりです。

（１）一般選抜

上記「２．出願資格」（１），（２），（３），（４）又は（５）のいずれかに該当する者で社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を希望しない者

（２）特別選抜

① 社会人特別選抜

次のいずれかに該当する者で社会人特別選抜試験の受験を希望する者

・出願資格（１），（２）又は（３）に該当する者で，大学卒業後，企業等に２年以上正規職員として勤務中であり，在職のまま入学を希望する者

・出願資格（４）に該当する者で，大学卒業後，企業等に４年以上（上記（４）による研究に従事した２年以上の期間を含む。）正規職員として勤務中であり，在職のまま入学を希望する者

・出願資格（５）に該当する者で，当該学校等卒業後，企業等に４年以上正規職員として勤務中であり，在職のまま入学を希望する者

② 外国人留学生特別選抜

出入国管理及び難民認定法別表第１に定める「留学」の在留資格により在留する者又は在留しようとする外国人で，外国人留学生特別選抜試験の受験を希望する者

４．出願手続

（１）出願受付期間

平成２２年2月２６日（金）から平成２２年3月１１日（木）までの間（土，日曜日を除く）

受付時間は，９時から１７時まで

なお，郵送による場合は，３月１１日（木）１７時必着とします。

（２）出願方法

① **出願を希望する者は，あらかじめ志望する専攻の希望する指導教員と研究内容等について相談の上，出願してください。**

② 入学志願者は，下記の出願書類等を一括し，持参又は郵送により提出してください。

なお，郵送の場合は，所定の封筒を用い，必ず書留郵便としてください。

提出先　〒８７０－１１９２　大分市大字旦野原７００番地　大分大学学生支援部入試課

（3）出願書類等

◎ 一般選抜

入学志願書 受験票	本学所定の用紙に，必要事項を記入し，上半身正面向きの写真（4㎝×3㎝）を所定欄に貼付してください。
修了（見込） 証明書	出身大学長（研究科長）が作成したもの （平成２２年３月本研究科博士前期課程修了見込者は提出する必要はありません。）
成績証明書	出身大学長（研究科長）が作成し厳封したもの
修士学位論文 の要旨	本学所定の用紙に2,000字（英語の場合は700words）以内で記入してください。 ただし，博士前期課程又は修士課程修了見込みの者は，修士論文の題目とその研究の進捗状況について要約したもの なお，関連した論文又は学術講演，特許等がある場合は，その写しを添付してください。
研究（希望） 計画書	本学所定の用紙に，希望する研究テーマ又は分野に関して，その目的及び構想について研究指導を希望する教員と相談のうえ1,000字（英語の場合は500words）以内で記入してください。
入学検定料払込 証明書 （30,000円）	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ①郵便局･その他の金融機関での払込 本学所定の振込用紙を用い，郵便局･その他の金融機関窓口で振込手続を行ってください。 ②コンビニエンスストア（一部）での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ （携帯版は http://daigakujc.jp/u.php?u=00041）から払込専用ホームページへアクセスするか，もしくは直接下記ＵＲＬにアクセスし，指示に従い払込手続を行ってください。 （払込専用ＵＲＬ）http://www.oita-u.net/ （携帯電話用ＵＲＬ）http://www.oita-u.net/mobile/ **※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは，アクセスできないことがあります。** 振込み後は，①の場合は郵便振替払込受付証明書（大学提出用）を，②の場合は収納証明書（コンビニによっては領収書）を，受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。手数料は本人負担です。 ただし，国費外国人留学生及び平成２２年３月又は平成２２年９月に本学研究科博士前期課程又は修士課程を修了見込みの者で，引き続き本課程に進学する者は納付する必要はありません。
受験票返送用封筒	本学所定の封筒に住所・氏名・郵便番号を記入し，３５０円切手を貼付してください。（出願書類等を持参する者は提出する必要はありません。）
合格通知用 住所シール	本学所定の用紙に記入してください。

（注）1．出願資格（4）又は（5）に該当する者で修士の学位を有しない者は，「修了証明書」，「成績証明書」，「修士学位論文の要旨」を提出する必要はありません。

2．証明書は原本(ORIGINAL)とし，複写(COPY)は無効とします。

3．研究（希望）計画書は，希望指導教員の印鑑が必要です。

◎　社会人特別選抜

本要項４ページの「一般選抜の出願書類」に定めるもののほかに，下記の書類を提出してください。

職務履歴書 （その１　職務内容）	本学所定の用紙に，職務内容，学術論文，研究報告，著書，特許・実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。
職務履歴書 （その２　論文・発表・特許等）	
入 学 承 諾 書	本学所定の用紙に，勤務先の所属長等が作成したもの

◎　外国人留学生特別選抜

本要項４ページの「一般選抜の出願書類」に定めるもののほかに，下記の書類を提出してください。

外国人登録済証明書	既に，日本に在住する外国人で外国人登録済証明書を受けている場合
国費外国人留学生 証　明　書	外国人留学生で，日本政府（国費）の留学生は，それを証明するものを添付してください。（出身大学の担当部署の証明とし，様式は問いません。）

※　出願受付期間，試験日時については，４月入学及び１０月入学について同一日程で行います。

５．入学者の選抜方法

（１）選抜方法の内容

①　一般選抜

選考は，学力検査及び書類審査により行います。

学力検査は，筆記試験（専門科目，英語）及び口述試験により行います。

②　社会人特別選抜

選考は，学力検査及び書類審査により行います。

学力検査は，口述試験により行います。

③　外国人留学生特別選抜

一般選抜に準じて行います。ただし，筆記試験は，専門科目と日本語を課します。

※　平成２２年度秋季入学希望者のうち博士前期課程又は修士課程在学中の者で平成２２年４月以降に修了予定者については，第１次選考と第２次選考により入学者選抜を行います。

第１次選考は，学力検査及び書類審査により平成２２年３月１６日（火）に行い，第２次選考は，第１次選考合格者を対象として，修士論文が完成する頃に別途各専攻から通知する日程（平成２２年８月中旬）で，口述試験により行います。

（２）筆記試験の内容

①　専門科目（志望する研究分野の基礎となる科目）

②　英語（外国人留学生特別選抜は日本語）

（３）口述試験の内容

①　一般選抜における口述試験

口述試験は，修士論文（修了見込みの者は研究の進捗状況）又は研究成果，志望する研究分野に関する科目，入学後の研究計画等について行います。

②　社会人特別選抜における口述試験は，志望する研究分野に関する専門科目，英語，研究業績，入学後

の研究計画等について行います。

また，研究計画書及び職務履歴書について試問します。

③ 外国人留学生特別選抜における口述試験は，一般選抜における口述試験に準じて行います。

（4）学力検査の日時，場所等

① 学力検査の日時

イ．一般選抜及び外国人留学生特別選抜

期　　日	試 験 区 分		試 験 時 間
平成２２年3月１６日(火)	筆記試験	専 門 科 目	９：００～１１：００
		英語又は日本語	１１：３０～１２：３０
	口　述　試　験		１３：３０～

（注）平成２２年3月，又は平成２２年９月に本研究科博士前期課程を修了見込みの者は，筆記試験を免除します。

ロ．社会人特別選抜

期　　日	試 験 区 分	試 験 時 間
平成２２年3月１６日(火) 又は 平成２２年3月１７日(水) のどちらかの日で受験者が希望する日	口　述　試　験	１３：３０～

② 検査場　　大分大学工学部

大分市大字旦野原７００番地

６．合格者発表

平成２２年3月２０日（土）午前１０時に中央掲示板（大分大学教養教育棟前）に掲示するとともに，合格者には合格通知書を送付します。

また，本学ホームページ（http://www.oita-u.ac.jp/）にも合格者受験番号を掲載します。

なお，電話による合否の問い合わせには一切お応えできません。

なお，平成２２年４月以降に博士前期課程又は修士課程を修了見込みの者については，以下の要領で合格者発表を行います。

① 第１次選考の合格者発表……平成２２年3月２０日（土）午前１０時に中央掲示板（大分大学教養教育棟前）に掲示するとともに，合格者には第１次合格通知書を送付します。

② 第２次選考の合格者発表……平成２２年９月上旬に中央掲示板（大分大学教養教育棟前）に掲示するとともに，合格者には合格通知書を送付します。また，本学ホームページ（http://www.oita-u.ac.jp/）にも合格者受験番号を掲載します。

７．入学手続

合格者には，合格通知とともに入学手続きに必要な案内を送付します。

８．入学料及び授業料

① 入学料　282,000円

（注）国費外国人留学生及び平成２２年３月に本学研究科博士前期課程又は修士課程を修了し，引き続き本課程に進学する者は納付する必要はありません。また，平成２２年９月に本学研究科博士前期課程又は修士課程をを修了し，引き続き本課程に進学する者も納付する必要はありません。

② 授業料（年額）　535,800円（前期分　267,900円　後期分　267,900円）

（注）１．入学料・授業料については，免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは納付前に行う必要がありますので，学生支援課奨学支援グループ（TEL 097－554－7386）へ問い合わせてください。

２.授業料については,希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

３．入学料，授業料は改定の可能性があります。在学中に授業料改定が行われた場合には，新授業料が適用されます。

４．国費外国人留学生については，納付する必要はありません。

９．注意事項

（１）試験室等の配置図を学力検査当日に渡します。

（２）一般選抜及び外国人留学生特別選抜における筆記試験受験者は，試験当日８時４０分までに工学部学務係に集合してください。

（３）社会人特別選抜受験者は，試験当日１３時１０分までに工学部学務係に集合してください。

（４）出願書類等の不備なものは受理しません。

（５）受理した出願書類及び検定料は，いかなる理由があっても返還しません。

（６）本学所定の用紙に記入の際は，パソコン又はワープロ等を使用しても差し支えありません。

（７）出願書類様式中,「修士学位論文要旨」,「研究（希望）計画書」,「職務履歴書」（社会人特別選抜用),「入学承諾書」（社会人特別選抜用),出願資格認定願書（出願資格認定用),「出願資格認定審査調書」（出願資格認定用),「研究業績調書」（出願資格認定用）については，本様式に準じて，パソコン又はワープロ等を使用して別途作成したものを使用することは差し支えありません。

なお，マイクロソフトワード文書ファイル（windows 版）で作成した上記出願書類様式の配布を希望される方は，大分大学ホームページからダウンロードできます。詳細は入試課（TEL 097－554－6701）へ問い合わせてください。

（８）入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については，独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき，入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし，入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあっては，選考資料として利用します。

（９）記載事項に虚偽の記入をした者は，入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

大分大学大学院工学研究科博士後期課程出願資格認定について

１．修士の学位を有しない者で「出願資格（４）及び（５）」の「出願資格認定」により出願する者は，出願する前に工学研究科の行う「出願資格認定」を受ける必要があります。事前に，電話等により入試課に申し出のうえ，別添「出願資格認定願書」に「出願資格認定審査調書」，「研究業績調書」，卒業証明書並びに論文等の別刷又は写し（各１部又は１冊）を添付し，２月２６日（金）から３月４日（木）（土，日曜日を除く）までの間に入試課へ提出してください。（なお，論文等の別刷又は写しについては，返却します。）

また，別添出願資格認定願書等のマイクロソフトワード文書ファイル（windows 版）の配布を希望する場合は，大分大学ホームページからダウンロードできます。詳細は入試課（TEL 097－554－6701）へ問い合わせてください。

２．出願資格認定の結果は，平成２２年３月８日（月）までに通知します。

３．出願手続は，出願資格認定の結果を受けてから行ってください。

長期履修制度について

大分大学大学院工学研究科博士後期課程においては，社会人入学者等について，長期履修を認めています。

長期履修制度とは，職業を有している等の事情により，常時大学で勉学することが困難な学生に対して，標準修業年限（博士後期課程は３年）を超えて，３年６月以上６年以内の希望する期間で計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。この間の授業料は，履修期間に応じて按分することとしています。

長期履修制度を適用される者は次に掲げる学生です。

一　社会人学生

二　研究科長が特に必要と認めた学生

長期履修を希望する場合は，入学手続き時又は入学後１年以内に申請することとしています。

障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち，障がいのある者等で，受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は，平成２２年３月４日（木）までに，下記の事項を記載して（様式任意），医師の診断書を添え入試課に提出してください。

・障がいの種類・程度
・受験の際に特別な配慮を希望する事項
・就学の際に特別な配慮を希望する事項
・日常生活の状況及びその他参考となる事項

博士後期課程教育研究分野

１．専攻の概要

[物質生産工学専攻]

現代社会を構成する機能要素としての物質の機能の解明，生産技術の開発，さらに物質に付加された各種の情報の生産と処理技術に関する教育研究を行います。

科学技術の発展は，新しい物質の発見と，それを生産する技術の改良によって支えられてきました。新規な機能を有する物質の発見と効率的生産がさらに新しい技術を生み出し，大量生産を可能にするとともに産業の発展を促してきました。近年は先端技術分野で用いられる物質に対する要求が高度化し，従来とは異なった発想に基づく創造的生産技術が求められています。これからは，個々の過程を別個にとらえるのではなく，高い機能を有する物質の設計から機能を発現させる製造技術，そして高品質大量生産を可能にする生産プロセスまで，一つのシステムとしてとらえることが必要です。本専攻は，新規な物質の開発と生産技術，及びシステム化をめぐる課題を取り上げて教育研究を行います。

物質生産工学における３大講座の概要は次のとおりです。

○機能物質工学講座

従来からある無機材料・有機材料・高分子材料の高機能化及びそれらの複合化，ニューセラミックス，磁性材料などの新素材やエネルギー変換材料の合成・設計・評価，物質の構造と機能の関係など，今後の技術革新の鍵を握る高機能性材料の合成及び機能発現に関する教育研究を行います。

○生産プロセス工学講座

革新的な生産技術を開発するうえで必要となる設計生産工程のシステム的アプローチ，生産工程における動的特性の解析や精密生産技術の開発, さらにはこれらを可能にする自動制御システムや電源システムなど，生産プロセス全般にかかわる教育研究を行います。

○生産情報工学講座

製品の品質管理手法や製造工程における数理計画，情報化を進めるうえで重要な情報通信システム，人間を含めた生産工程や生産システムの効率化や管理に必要な並列分散処理，データベースシステム，及びソフトウェア工学など，開発から製造に至る生産プロセスのシステム化に関する教育研究を行います。

【環境工学専攻】

人類の諸活動が環境に与えるインパクトを解明するために，エネルギーと環境の関連，快適な環境の計画と設計，さらに知的活動の支援や環境をコントロールするための情報システムに関する教育研究を行います。

科学技術の進歩とともに生産活動が活発になるのに伴い，人間を取り巻く環境は急速に変化しています。無限とも思われてきた環境容量を超える生産活動は，今や地球規模で環境に重大な影響を及ぼしつつあり，調和のとれた発展が強く望まれます。一方，情報化社会の到来・生活水準の高度化などに伴い，快適な生活環境に対する要求が強くなっています。このような社会の要求に応えるためには，単なる問題解決型の取り組みのみによるものではなく，快適な自然環境と調和の取れた人工環境の創造という視点に立った人間工学的，情報・システム科学的観点からのアプローチが必要です。本専攻は，環境をめぐる種々の課題をエネルギー，環境設計，及び環境情報の観点から取り上げて教育研究を行います。

環境工学専攻における３大講座の概要は次のとおりです。

〇エネルギーシステム工学講座

エネルギーの発生・輸送・貯蔵・消費などを総合的にとらえるもので，放電プラズマの計測・制御，超伝導を利用したエネルギーの貯蔵，燃焼・流動時の高温伝熱やその制御，電磁気の測定系の開発やエネルギーシステムの制御など，エネルギーを有効利用するシステムに関する教育研究を行います。

〇環境設計工学講座

快適な生活環境の設計，福祉環境の向上を図るための住環境及び施設計画，さらに構造設計・耐震設計，建築材料と施工技術，微生物を用いた水環境の改善やニューバイオテクノロジーの有効利用，バイオリアクターを用いた地球環境保全技術の開発など，環境設計及び制御に関する教育研究を行います。

〇環境情報工学講座

情報科学の基礎分野，機械学習，ヒューマンインタフェース，知識・知能システムなど人間機械系に関する分野，都市全体としての環境計画，資源と環境のかかわりなど，高度情報化社会に向けた情報システムや住環境の構築へのシステム工学的アプローチに関する教育研究を行います。

２．博士後期課程の教育研究分野及び授業科目

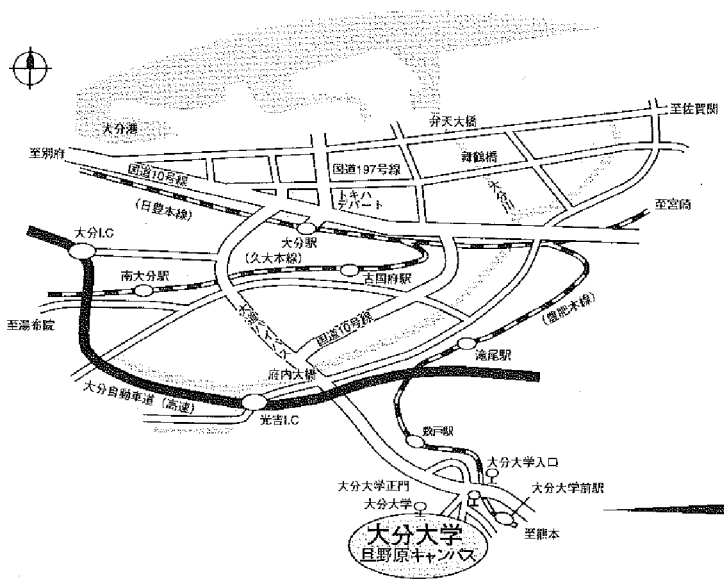
専攻	講座	教育研究分野 名称	教育研究分野 内容	授業科目名	担当教員
物質生産工学	機能物質工学	電子材料工学	磁性材料並びに誘電材料の機能発現機構の解明と新しい機能材料及び素子の開発や応用に必要な磁性工学，結晶学，X線結晶学，磁気共鳴結晶学，磁気計測，電磁界解析等に関する教育研究を行います。	磁気現象工学特論 磁性材料特論 応用結晶工学特論 数理科学特論 半導体デバイス解析技術特論 非線形動力学特論 機能材料工学特論 バイオメカニクス特論	榎園正人 戸高孝 小林正 沖野隆久 益子洋治 長屋智之 佐久間俊雄 今戸啓二
		機能性無機材料工学	無機材料の物性，分子認識の理解に必要な錯体形成に関する平衡，相互作用及び炭素材料の物性などに関する教育研究を行います。	炭素材料工学特論 生体機能関連化学特論 機能性材料化学特論 セラミックス製造特論	豊田昌宏 天尾豊 永岡勝俊 津村朋樹
		機能性有機材料工学	有機化合物の基本的機能・応用技術，有機化学反応の機構，高機能高分子材料の高次の機能発現機構・分子素子設計の概念等の解明と工学的応用に関する教育研究を行います。	高分子材料工学特論 機能性有機材料特論 有機分子機能解析特論 理論有機化学特論 有機材料工学特論	氏家誠司 飯尾心 井上高教 大賀恭 守山雅也
	生産プロセス工学	機構設計工学	材料・機器システムの設計手法の体系化，内燃機関の各構成要素の動的特性と設計法との関連，システムの疲労特性と強度設計の評価方法に関する教育研究を行います。	内燃機関潤滑論 応用材料強度論 塑性加工学特論	濵武俊朗 後藤真宏 的場哲
		計測工学	歯車などのような機械要素表面の加工法・精度の問題点，機械装置・構造物の動的応答，特に非線形振動現象の理解と解析法並びに計測法に関する教育研究を行います。	応用振動学特論 表面工学特論 非線形電磁気工学特論 数理シミュレーション特論	劉孝宏 木下和久 後藤雄治 高坂拓司
		電子制御工学	システム電源回路の解析，スイッチング方式によるエネルギー変換，さらにファジイ・ニューロなどの制御手法・ロバストなシステム同定技術の理論的解析に関する教育研究を行います。	学習制御システム特論 制御ﾌﾟﾛｾｽﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ特論 電気エネルギー変換特論	柴田克成 松尾孝美 鍋島隆
	生産情報工学	数理情報	離散的な数学構造（例えば，コード，デザイン，グラフなど）に対して，代数学的な手法により解析を行います。特にそのような構造に作用する群の性質を深く調べることにより，代数学と離散幾何学の融合を目指します。	代数学的情報特論	田中康彦
		情報ネットワーク	電磁波の波動情報特性の解析・応用，UNIXによる計算機ネットワークの設計原理，協調動作に関連する並行プログラミング支援システムなどに関する教育研究を行います。	波動情報工学特論 応用電磁波特論 計算機ネットワーク特論 並行プログラミング特論 可視化情報学特論 広帯域光ネットワーク特論	田中充 工藤孝人 宇津宮孝一 吉田和幸 西野浩明 古賀正文

専攻	講座	教育研究分野 名称	教育研究分野 内容	授業科目名	担当教員
物質生産工学	生産情報工学	計算機システム	並列計算機の処理方式・制御方式，並列プログラミング言語，データベース基礎理論・実践的手法等に関する教育研究を行います。	並列計算機構特論 ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｼｽﾃﾑ特論 知能化ソフトウエア特論	川口　剛 二村祥一 藤田米春
環境工学	エネルギーシステム工学	熱流体工学	各種衝撃波の物理現象の解明と医学・工学への応用，流れを利用した機械の流力騒音・振動現象の解明とその制御・設計法及び反応を伴う流れに関する教育研究を行います。	衝撃波工学特論 乱流現象工学特論 応用流体力学特論 反応性ガス流体力学特論	鹿毛一之 山田英巳 濱川洋充 田上公俊
		数理伝熱工学	各種装置における，熱や流体の流れ，物質拡散等の各種輸送現象を数値解析的に取り扱うための，基礎式や計算手法について教育研究を行います。	数理輸送現象工学特論	岩本光生
		電気エネルギー	種々の半導体電力回路とその制御技術・超伝導マグネットの物理的特性の解明及びリニアモータや磁気浮上の電磁力を利用する機器に関する教育研究を行います。	超伝導応用工学特論 電磁力応用特論	江崎忠男 小川幸吉
		放電プラズマ工学	放電プラズマの発生とその計測法，静電気帯電現象を利用した各種装置及び電気流体力学による粉体・気泡輸送，液晶中の静電気現象に関する教育研究を行います。	放電プラズマ計測特論 電気流体解析特論 静電気工学特論	濱本　誠 大久保利一 金澤誠司
	環境設計工学	建築環境設計	ハンデイキヤップ者，特に高齢者や障がい者に配慮した住宅・生活施設・都市づくり及び建築環境における日射・照明・熱等の設計手法に関する教育研究を行います。	建築環境設計特論 福祉環境設計特論	真鍋正規 鈴木義弘
		構造設計工学	膜構造の構造計画・解析法，コンクリートの耐久性，コンクリートと他の材料との合成構造の設計法及び木造建物に対する構造設計法に関する教育研究を行います。	コンクリート工学特論 木質構造設計特論 特殊構造特論	佐藤嘉昭 井上正文 菊池健児
		環境生物工学	工業微生物や酵素の生化学的特性と機能開発，バイオリアクターやバイオプロセスの解析・設計・微生物システムの設計及び分子組織生体に関する教育研究を行います。	生物プロセス工学特論 生体機能分子化学特論 生物生産工学特論 分子工学特論 抗体工学特論	羽野　忠 石川雄一 平田　誠 宇田泰三 一二三恵美
		人間環境	リハビリテーションや福祉工学応用を目的とした人間の計測とリハビリテーション及び生活支援環境設計に関する教育研究を行います。	人間動作解析特論	池内秀隆

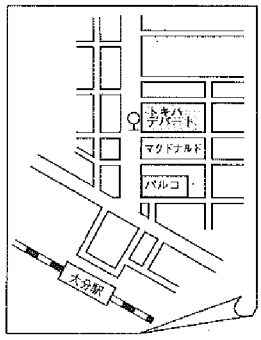
専攻	講座	教育研究分野		授業科目名	担当教員
		名称	内容		
環境工学	環境情報工学	建築都市環境工学	建物周辺や室内の熱環境・空気環境の形成，都市の土地利用・人口分布・都市空間の物的構成及び音場解析と騒音制御に関する教育研究を行います。	都市システム工学特論 建築音響工学特論 空間情報工学特論	佐藤誠治 大鶴徹 小林祐司
		知能情報	代数学の情報工学への応用，人間の知的活動のモデル化，自然言語・図表・画像等の処理，知識共有，知識抽出，生体データ解析，研究デザインの構築等に関する教育研究を行います。	知能モデル構成論 ナレッジマネージメント特論 生体データ解析特論 生体データ実験計画特論	伊藤哲郎 末田直道 越智義道 和泉志津恵
		ヒューマンインタフェース	計算機ソフトウェアの知能化，騒音・振動・音声・建築音響等の処理及び音声認識･音声合成を中心とした聴覚情報処理に関する教育研究を行います。	知能化ソフトウェア特論 聴覚情報処理特論	藤田米春 秋田昌憲

大分大学位置図及び学内案内図

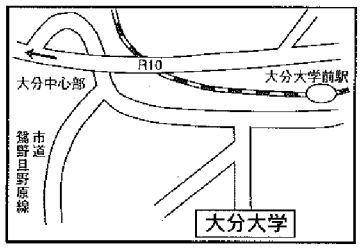
大分大学旦野原キャンパス位置図



バスのりば案内図



大分大学入口案内図



◎交通アクセス

＜ＪＲ利用＞

ＪＲ豊肥本線「大分大学前駅」下車(大分駅より約12分：240円)

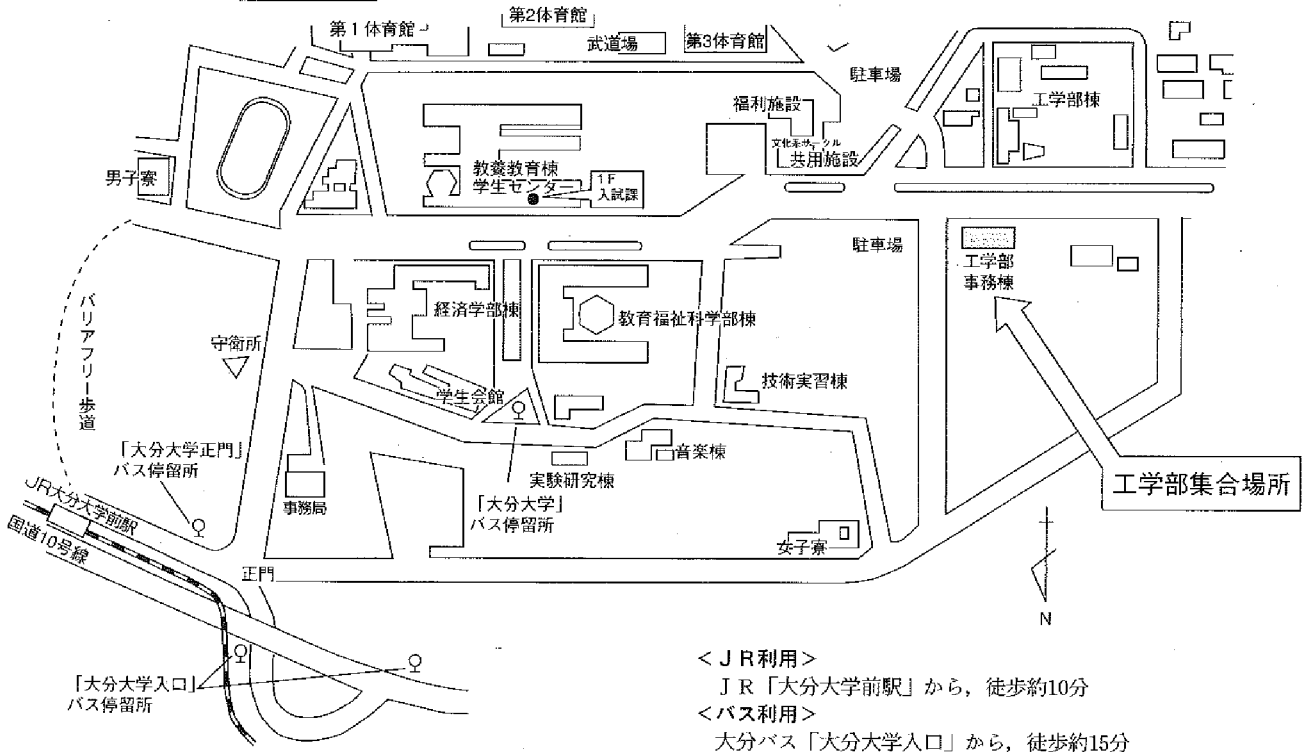
＜バス利用＞

大分バス　トキハデパート前から

○「高江ニュータウン・大南団地」又は「大分大学」行きを利用。
「大分大学」又は「大分大学正門」下車…(約40分：360円)

○「戸次，臼杵，竹田，三重，佐伯」行き等を利用。
「大分大学入口」下車…(約40分：350円)

旦野原キャンパス案内図



＜ＪＲ利用＞

ＪＲ「大分大学前駅」から，徒歩約10分

＜バス利用＞

大分バス「大分大学入口」から，徒歩約15分

問い合わせ先

出願にあたって不明な点等があった場合の照会は，下記に行ってください。

〒870-1192　大分市大字旦野原 700 番地

大 分 大 学 学 生 支 援 部 入 試 課

ＴＥＬ　097-554-6701

この募集要項の内容はホームページ（http://www.oita-u.ac.jp/）にも掲載されています。